

事例番号:300539

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第一部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 36 週 0 日

23:05 胎動消失を自覚し受診

23:13- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動消失、一過性頻脈消失、遷延一過性徐脈あり

23:20 胎児心拍数陣痛図で基線細変動消失のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 36 週 1 日

1:19 胎児機能不全のため帝王切開にて児娩出

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:36 週 1 日

(2) 出生時体重:2660g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.84、PCO<sub>2</sub> 118mmHg、PO<sub>2</sub> 0mmHg、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 20.1mmol/L、  
BE -17.2mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 1 点

(5) 新生児蘇生:気管挿管、人工呼吸(チューブ・バック)

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死、低酸素性虚血性脳症(Sarnat 分類Ⅱ度からⅢ

度)、新生児遷延性肺高血圧症、動脈管開存症、低血糖

(7) 頭部画像所見:

生後 30 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 4 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 36 週 0 日の受診より前に生じた胎児低酸素・酸血症が出生時まで持続したことであると考える。

(2) 胎児低酸素・酸血症の原因を特定することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性はある。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

**1) 妊娠経過**

妊娠中の管理は一般的である。

**2) 分娩経過**

(1) 「胎動がほとんどない」との電話連絡に対して、入院の用意をして受診するよう指示したことは一般的である。

(2) 胎動消失のため受診した妊産婦に対する対応(分娩監視装置の装着、医師への報告、入院管理としたこと)は一般的である。

(3) 妊娠 36 週 0 日受診時の胎児心拍数陣痛図で基線細変動消失と判読し、対応(パタリイ測定、血液検査、胎児機能不全のため帝王切開を決定)したことは一般的である。

(4) 帝王切開決定後、高次医療機関 NICU 医師に往診を依頼し、決定から 74 分で児を娩出したことは一般的である。

(5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

(6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

### 3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は概ね一般的である。
- (2) 重症新生児仮死であり、低体温療法目的で高次医療機関NICUへ搬送したことは一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

新生児蘇生については、分娩に立ち会う全てのスタッフが「日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト」に則した処置が実施できるよう習熟することが望まれる。

【解説】本事案では、生後1分に気管挿管し、人工呼吸を開始、継続しているが、「日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト」では適切な人工呼吸を30秒行い、心拍数が60回/分未満の場合は胸骨圧迫を開始することとされている。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

- ア. 入院前に発症した異常が胎児低酸素・酸血症を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。
- イ. 胎動の自覚はある程度信頼される胎児の健常性の指標であり、それにより妊産婦自身が健康への関心を高め、胎動減少を自覚することによって異常を早期に発見できる可能性がある。胎動カウントの有用性についてさらなる周知、啓蒙が望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

入院前に発症した異常が胎児低酸素・酸血症を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。